

～行事報告『博多祇園山笠・飾り山を見てきました』～

7月10日、7月より開催中の博多祇園山笠の飾り山を見に行ってきました。10日は『昇き山(かきやま)』で本格的に山笠が動き始める日です。飾り山は3番山『中洲流』、表は“合戦三原方”、見送りは、“決戦長篠城”で戦国武将の勇ましい人形は、とても迫力がありました。



飾り山を見た入所者様からは「すごかぁ」「綺麗やねえ」という感想と笑顔がありました。また、嬉しかったのが、『昇き山』の準備が忙しいにもかかわらず、中洲流の方々が、写真撮影や山についての説明を快くしてくださり、とても充実した外出レクリエーションとなりました！



平成 27 年 7 月 臨時
平成 27 年 7 月 10 日
社会福祉法人 晃和会

～歯科研修『口腔ケアについて(経管栄養の方を中心に)』～



定期的を開催をしております“歯科研修“ですが、今回は、『口腔ケア』について、特に経管栄養（胃瘻）の方に対するケアを、『ばん歯科医院』（東区若宮）の塙茂生先生に講義して頂きました！

口を開けて頂けない場合の方法やケアをされる方が気持ち良く受けて頂けるための方法を教えて頂きました。塙先生、ばん歯科のスタッフの皆様、ありがとうございました！



中洲流の男衆と記念撮影♪

～晃和会野球部初勝利！？最終回に悪夢！～

7月5日、雁ノ巣球場にて『ホワイトスネイクス』との練習試合に臨んだ晃和会野球部。1回の表の攻撃から特大ホームランが飛び出し、1回の裏には先発投手の安部の奪三振ショーなど、序盤は晃和会の楽勝ムードで幕を開けた試合展開であったが、先発安部が肘の違和感による交代とその後の連鎖するエラー、繋がらない打線。

それでも山本・長嶺副主将の2塁打、ファインプレーで7-6の晃和会リードで迎えた最終回。1アウト2・3塁。安部からマウンドを託された投手萩尾の直球は、無情にも左中間に弾き返された。野球とは試合の数だけドラマがある。同じシナリオはない。「今日の敗因は相手を甘くみたこと、そして僕が打てなかったことが原因です」(芝崎監督談)勝てる試合を落としたことで初勝利はお預けとなったが、サヨナラ負けを経験した晃和会ルーキーズは、また一つ成長したように思えた。(野球部番記者)



編集後記 こんにちは、生活相談員の後藤です。今回、7月、8月にイベント、研修等の行事が多いために臨時で発行をさせて頂きました。そして、お知らせがございます。私事となりますが、7月で異動のためシエルを退職となります。次の『月刊シエル』ですが、特養の生活相談員本城が担当致します。開設から約3年9ヶ月、本当にお世話になりました。また夏祭り等でシエルにお邪魔することがあると思います、今まで本当にありがとうございました。皆様もお身体をご自愛くださいませ。 特別養護老人ホームシエル名島 後藤大輔